

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年5月12日

事業所名

こどもプラス池田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		国の基準に達しており、適切です。	
	2	職員の配置数は適切である	○		10人の児童に対し、4~6人の指導員を配置しており、適切です。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚刺激を減らし学習に集中できるよう壁面に個別の机を配置しています。入口から室内へはバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動後は毎日清掃と消毒を行い、清潔を保つ努力をしています。壁は白、床は緑と精神的にも視覚的にも刺激が少なく落ち着けるよう配慮しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々振り返りを行い、その中でPDCAを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		内容を真摯に受け止め改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIにて公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		本部のSVから評価をもらい、改善に繋がっています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントや面談での内容を基に、客観的にリアルニーズを割り出し計画に入れて作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童に適した必要な項目を選択し計画に入れ、具体的に設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		その日の利用児童の計画に沿った内容でプログラムを組み実施しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日チームで立案・検討しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		立案者は定期的に変更し、固定化されないよう工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		一人ひとりの状況に応じ、個別と集団の内容を組み合わせ作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の申し送りでは一人ひとりの特性や注意事項、支援内容について細かく確認し共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		朝、全体で確認した支援内容について終了後必ず打ち合わせし、共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		一日の中で行われた支援内容や児童の行動・様子について記録し検証・改善に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1度モニタリングを行い、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市の発達支援課、子育て支援課と連携し支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケアが必要なお子さんが利用していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要なお子さんが利用していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様からご要望があった時には積極的に情報共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様からご要望があった時には積極的に情報共有しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		一年に数回研修を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		日常的に地域の保育所に通われています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		地域で開催されたときには、積極的に参加して参ります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		来所時、または電話、連絡帳を使い、密に連絡を行っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	ペアレント・トレーニングとしてのプログラムは使用していませんが、必要性があると判断したときには、状況を伺い具体的な方法を伝え支援しています。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用者負担については表を用いて丁寧に説明を行っています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		同意を得ています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		こまめに連絡を行い、都度ご相談に対して必要な助言と支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度はまだコロナ禍であり、実現しませんでした。可能になれば、開催を検討したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者様から相談や申し入れがあった時には、対応や体制を見直し整備し適切に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定等は毎月カレンダーを発行し発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		発語の少ない児童に対してはマカトンやボディランゲージ等を使用し意思の疎通を図っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業者が地域の皆様に周知され、理解される事業運営を図って参ります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様から聞き取りを詳しく行い、記録しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在該当者がありませんが、必要が出た時には子どもや保護者様に十分説明の上、計画に記載いたします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。